



防災カフェ ☕

近年、日本では、さまざまな災害が多発しています。中でも、今年2月13日の福島県沖を震源とする震度6強の地震では、福島県内の広い範囲で家屋の損壊や停電が発生したため、避難所が開設されました。平成30年9月の胆振東部地震によるブラックアウトを思い出したかたも多いのではないのでしょうか。

ゲリラ豪雨や台風、地震など、災害はいつ襲い掛かってくるかわかりません。自分や家族を守るためには、普段からの心構えが大切であり、災害時に正確な情報を取得する方法、家庭内備蓄などの備え、緊急時の連絡先・集合先などを決めておくといでしょう。



▲防災ガイドブック

防災ガイドブックを活用してください

芦別市では、防災ガイドブックを更新し、広報あしべつ4月号の配布に合わせて各戸に配布します。この中には、災害の種類と対処方法、避難の方法、備蓄品リスト、情報の取得先など、災害に備えるための多くの内容をまとめていますので、ぜひ活用してください。

▼防災ハザードマップ



●詳細 危機対策係 ☎27-7058

慣れた山にも、隠れた危険があります

- 行き先を家族に伝えましょう。
行き先が分からないと、捜索開始が遅れます。行き先や帰宅時間を家族に伝えましょう。
- 無理に山奥に入らないようにしましょう。
慣れた山でも、油断は禁物。自分の体力や体調、天候や時間に合わせた行動をしましょう。
- 単独での入山は避けましょう。
万が一、迷ったり、怪我をした場合、一人では救助要請ができません。なるべく、複数で出掛けましょう。また、山の中では、絶えず声を掛け合いながら、お互いの位置を確認しましょう。
- 目立つ色の服装で入山しましょう。

万が一遭難した場合、ヘリコプターが上空から救助に向かう場合があります。上空からは、赤色や白色系の服装が目立ち、発見されやすくなります。



- 携帯電話やホイッスルを持ちましょう。
携帯電話があれば、非常時の連絡手段として、助けを求めることができます。ホイッスルがあると、周囲に自分の存在を知らせることができます。

●詳細 芦別警察署 ☎22-0110